

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

令和 年 月 日

湯前議会議長 金子 光喜 様

湯前町議会議員

議員派遣として出席した会議の内容は、次のとおりでありました。

期 間	令和8年3月26日（木）
場 所	湯前町役場 洋会議室
目 的	上球磨正副議長会

報 告 の 内 容	1. 上球磨正副議長会 来賓挨拶：清藤 湯前町副町長 <議題> (1) 総会資料 (2) 総会開催日時 (3) その他 <決定事項> ・R7年度 町村負担金の見直し：繰越金が多いため、各町村の負担金20万円のうち10万円を返還する案で合意した。 ・研修会・交流会の開催時期：当初の2月案は気候の問題が懸念され、従来の11月に戻す案が出されたが、他の行事との重複が課題となった。また、「議会議員研修」と「健康づくり交流会」を別項目にする案も示された。最終的に、10月開催で計画を進め、詳細は7月の会議で協議することになった。 ・新役員体制：会長にあさぎり町議会の小見田議長、副会長に湯前町議会の金子議長、監事に多良木町議会の宇佐議長と水上村議会的那須議長を選出し、事務局は「あさぎり町議会」が担当することが承認された。 ・総会開催の日時と場所：開催場所は次期事務局の「あさぎり町議会」、日程は例年

通り 5 月下旬を候補としつつ、最終調整は事務局に一任された。

<その他>

- ・ **組合立学校に関する勉強会の検討**： 本町議員から要望を受け、金子議長より勉強会の検討が提案された。その結果、各町村で勉強会のニーズを確認し、希望があれば研修会のテーマ候補として検討することになった。

＞議論の中では「現時点では時期尚早」との意見や、検討の焦点を「部活動」に置くのか、「教育全体（学び）」に置くのか整理が必要との指摘があった。

- ・ **球磨川鉄道全線開通に伴う連携イベント**： あさぎり町が含まれていない理由が問われた。

＞複数町村で連携した方が、県の補助金の補助率が上がる（1/2→2/3）メリットが共有された。

＞あさぎり町は単独実施の方針であるが、その内容について議会への情報共有が十分でない可能性が指摘された。

～所 感～

- ・ 事業計画および役員改選については、一定の方向性が示され、組織としての継続性と安定性が確保された点は評価できる。一方で、各交流会や町村長との意見交換会は、開催時期や内容について他行事との調整や目的の明確化が十分とは言えず、事業の実効性を高める観点から再整理が必要である。
- ・ 組合立学校に関する勉強会については、課題認識は共有されているものの、具体的な議論の段階には至っておらず、まずは各町村のニーズ把握を的確に行うことが重要である。
- ・ くま川鉄道全線開通に伴う連携イベントは、財政支援の面でも広域連携の意義が大きいことから、情報共有の不足が懸念される点については早急な改善が必要であり、議会としても主体的に関与していく必要があると感じた。